

令和6年2月7日

# 下水道使用料改定の 基本的な考え方について



公益社団法人 日本下水道協会

# 目次

1

・使用料改定の流れ

2

・使用料改定の基本的な考え方

3

・下水道協会の支援  
(使用料改定シミュレーションソフト)



## 下水道事業における費用負担の基本的考え方

- 下水道整備の推進と適切な維持管理を図るため、これらに要する費用について、下水道の基本的性格等に対応した国、地方公共団体及び使用者の適正な費用負担は、下記のとおり。

### 国、地方公共団体及び使用者の役割

国

国家的見地から地方公共団体の下水道整備等を推進する

地方公共団体

固有の事務として下水道を整備する

使用者

原則として下水道整備等に要する費用のうち私費で負担すべき部分につき、その受益等に応じて適正な費用を負担する **Point** 受益者負担

### 管理運営に係る費用負担

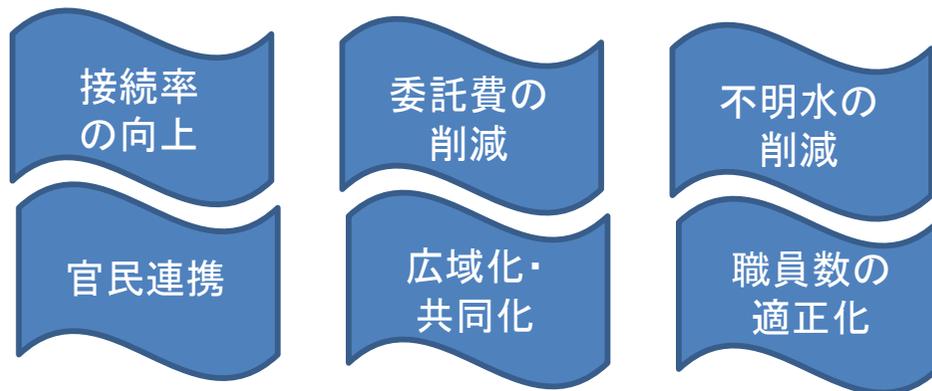
**Point** 雨水公費・汚水私費

基本的には、雨水に係るものは公費で、汚水に係るものは私費で負担するものとされている。ただし、下水道の公共的役割に鑑み、汚水に係る費用のうち一定のものが公費負担となる。

## 使用料改定の全体イメージ

### 内部

- ①現状把握・将来推計
- ②経営改善施策の検討

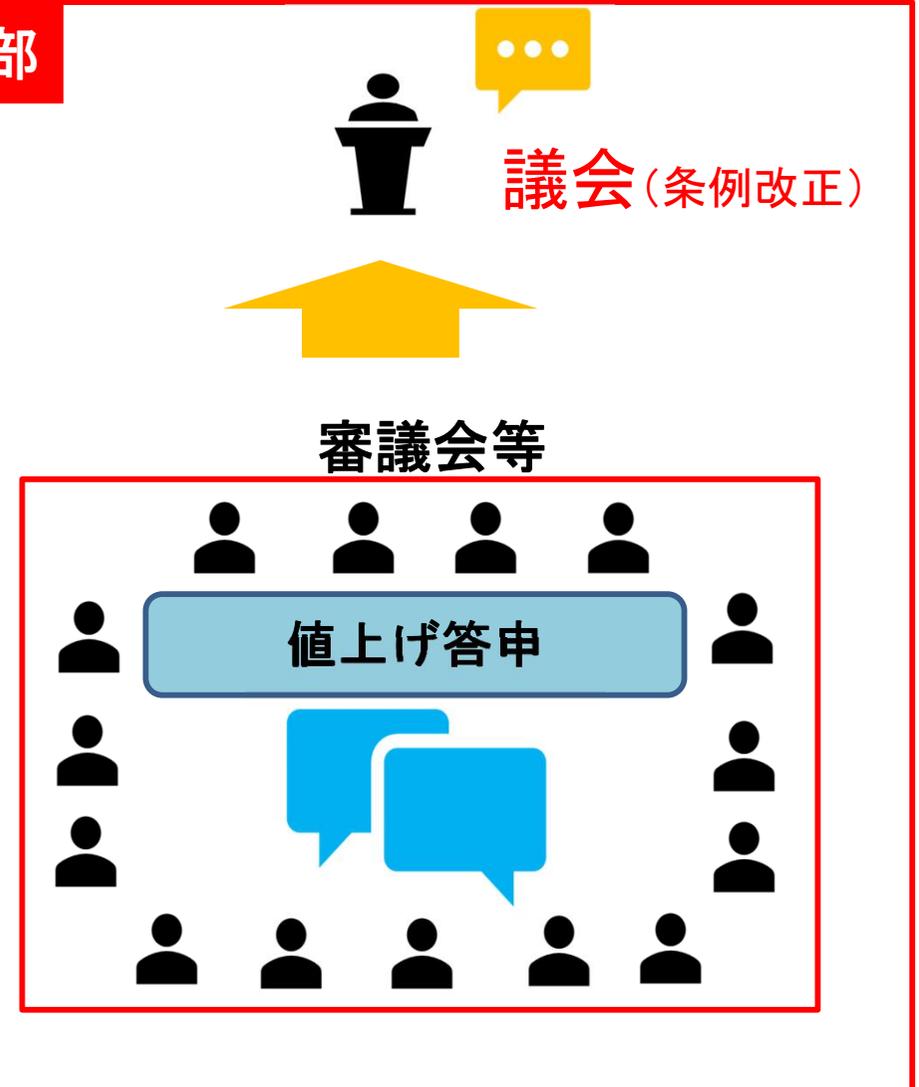


経営戦略の見直し(改定要否の検討)

改定理由(目的)の明確化

- 基準外繰入金の削減
- 経費回収率100% など

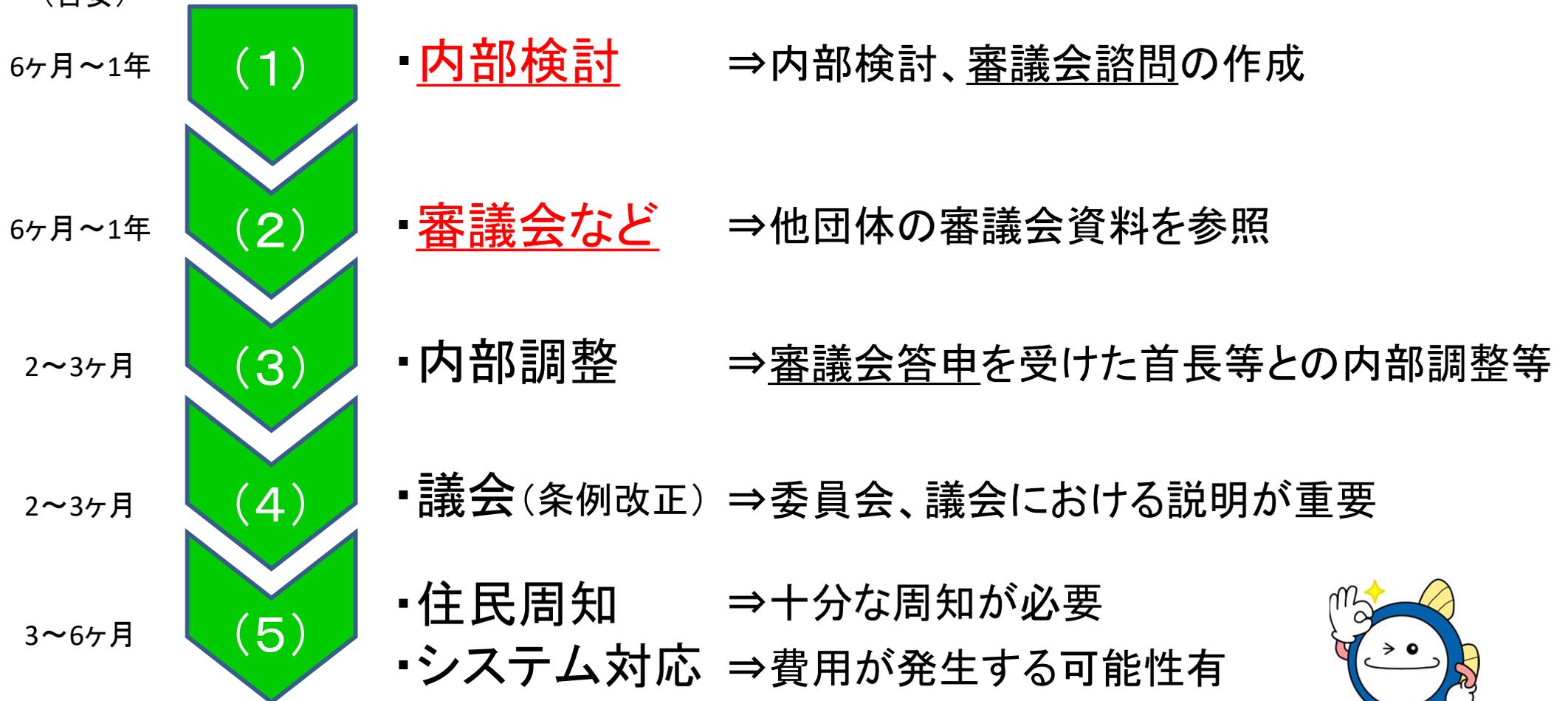
### 外部



# 1 使用料改定の流れ

## 下水道使用料改定の一般的な流れ

スケジュール  
(目安)



# 目次

1

・使用料改定の流れ

2

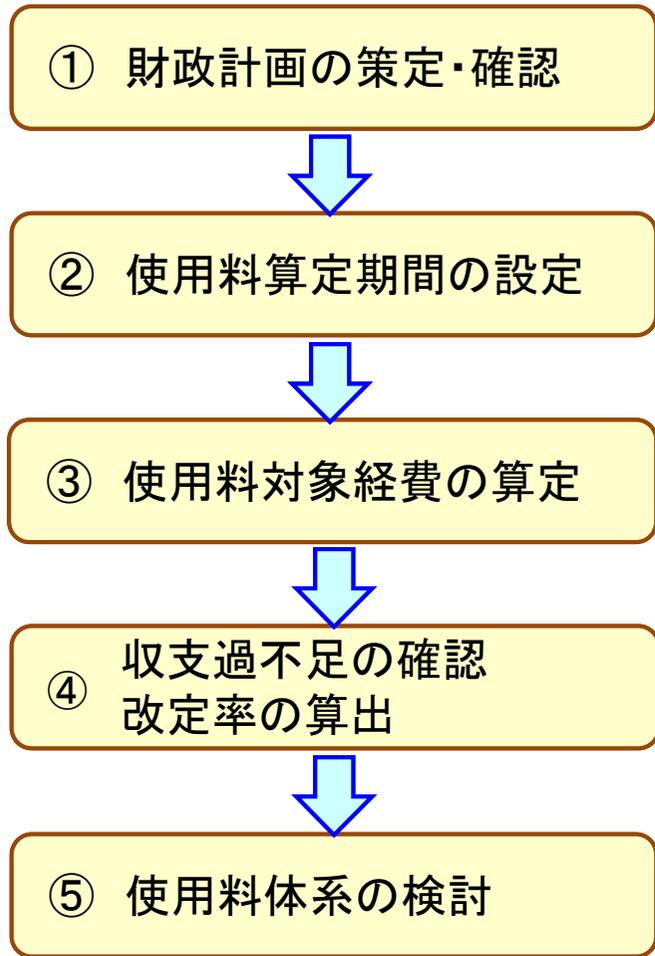
・使用料改定の基本的な考え方

3

・下水道協会の支援  
(使用料改定シミュレーションソフト)



## 使用料算定作業の進め方(作業フロー)



- ・経営戦略
- ・各種中長期計画

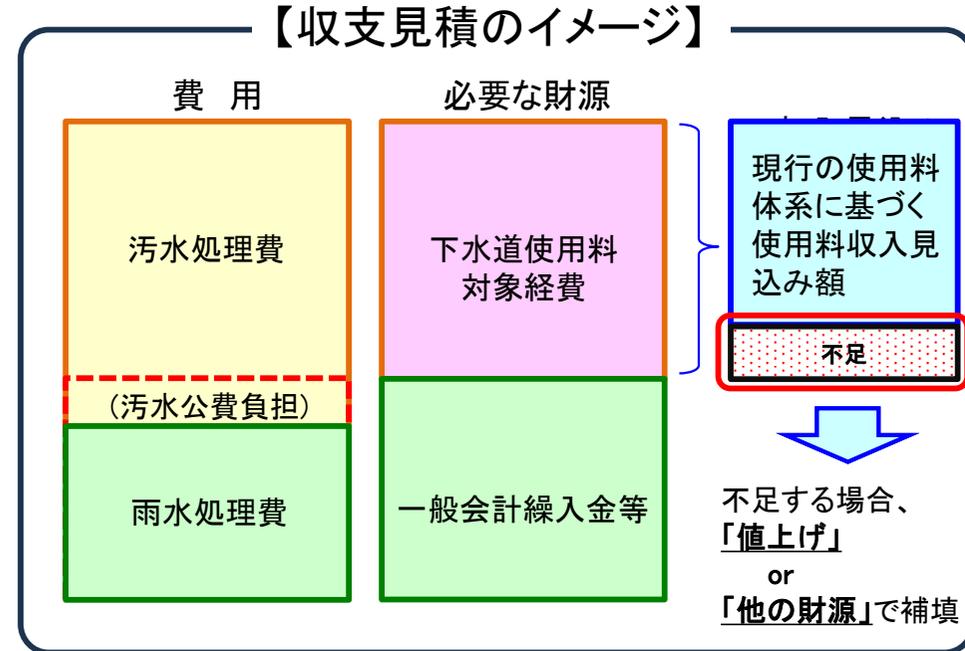
**Point**

- ・一般的に3~5年程度に設定することが適当

- ・使用料で回収すべき経費(維持管理費+資本費)

- ・不足額から使用料の改定率の目安を把握
- ・経費回収率100%など、改定する際の目標設定に基づき、改定率を算出

- ・目標を達成するために必要な使用料体系を検討



### 具体的な目標(改定率等)の設定(1/2)

#### 【使用料改定に関する観点】

- ①安定的に事業を継続していくためには、基準外繰入金に依存せず、中長期的に自立・安定した経営基盤を築くことが必要
- ②基準外繰入金により汚水処理原価を回収することは、下水道普及の便宜を享受できる住民とそうでない住民との間に不公平が生じること等を踏まえ検討することが必要
- ③可能な限り使用料収入により汚水処理原価を回収することが必要
- ④中長期の改築(更新)計画に基づき、資産維持費の原価算入の必要性を検討

※出典 総務省 令和4年1月 経営戦略策定・改定マニュアル

将来世代に負担を  
残していいのか…



交付金の交付要件や重点  
配分が心配…



一般会計の財政  
も苦しい…



「収支ギャップ」解消に係る取組等の合理化・効率化を徹底した場合でも収益確保等が見込めない場合は、上記の観点を踏まえて使用料改定の必要性を検討

### 具体的な目標(改定率等)の設定(2/2)

#### 使用料改定(改定率算出のため)の目標設定

##### 使用料改定の目標値

- ・経費回収率100%
  - ・基準外繰入金の解消
  - ・使用料@150円/m<sup>3</sup>
  - ・資金収支均衡
  - ・補てん財源の目標額確保
  - ・現金残高の目標額確保
  - ・累積欠損金の解消
- など

※経営戦略では投資・財政計画上の収支均衡が基本

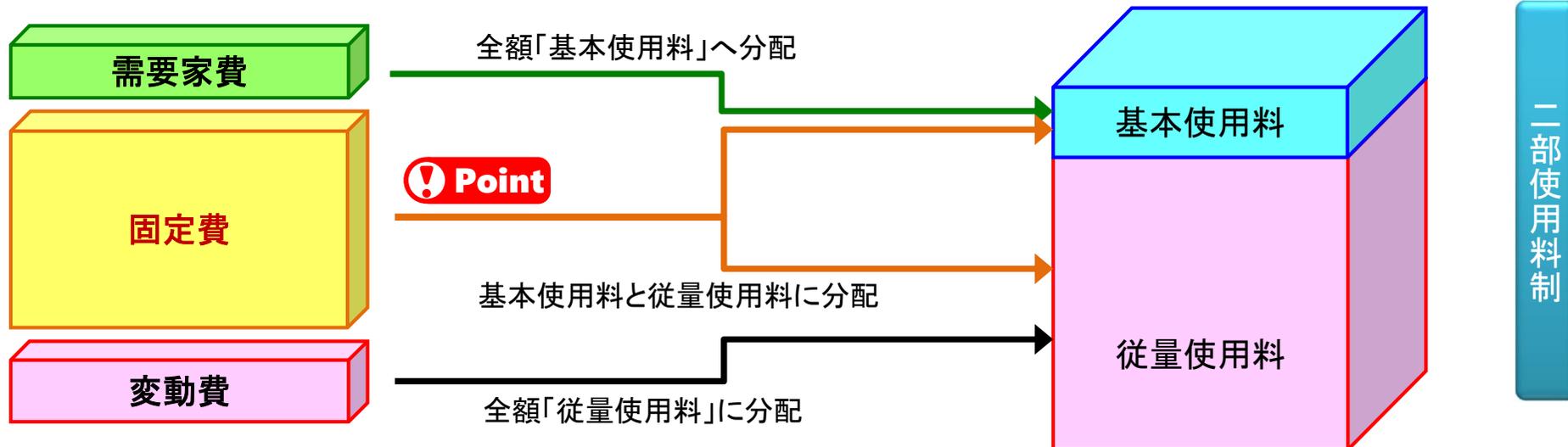
上記要件を達成できるよう「**改定率、使用料体系**」を検討

## 2 使用料改定の基本的な考え方

### 使用料体系の検討

- 使用料対象経費のうち基本使用料として賦課するものは、基本的には需要家費及び固定費とするのが適当である。
- 施設型事業である下水道事業の特性により、使用料対象経費に占める固定費の割合が極めて大きいことから、固定費についてはその一部を基本使用料として賦課し、他は従量使用料として賦課するのが妥当である。
- 基本使用料として賦課する固定費の範囲については、各地方公共団体の排水需要の実態、下水道事業の実態等を勘案して定めるものとするが、人口減少が見込まれる地域等にあつては、事業の安定した収支の均衡を図る観点から十分に検討する必要がある。
- 従量使用料として賦課するものは、基本使用料として賦課するもの以外の全ての経費とし、使用料対象経費の分解に応じて水量区分ごとに配賦するものとする。

使用料対象経費の分解



### 使用料体系の設定(1/2)

#### ○ 下水道使用料体系としての二部使用料制の原則化等

##### (基本使用料割合の逦増)

- ・将来の有収水量減少に備えるためには、基本使用料と従量使用料からなる二部使用料制を原則とした上で、基本使用料の割合を、漸進的に高めていく必要がある。
- ・基本使用料の配賦方法は、例えば、水道で採用されている口径別基本水量制等も参考にし、ピーク時の使用水量が処理場規模の設定、整備費用に与える影響を考慮した方法等も検討すべき。

##### (激変緩和)

- ・急激に基本使用料割合を高めることによる影響が生じないように、必要に応じ激変緩和措置を講ずるなど、適切に対応する必要がある。

##### (適切な累進度の設定)

- ・従量使用料における累進度の設定に当たっては、使用水量区分ごとの使用者分布の実態及び今後の見通しを十分に踏まえつつ、ボリュームゾーンに分布する使用者群において、汚水処理原価に近い使用料単価を負担することが基本となるよう留意すべき

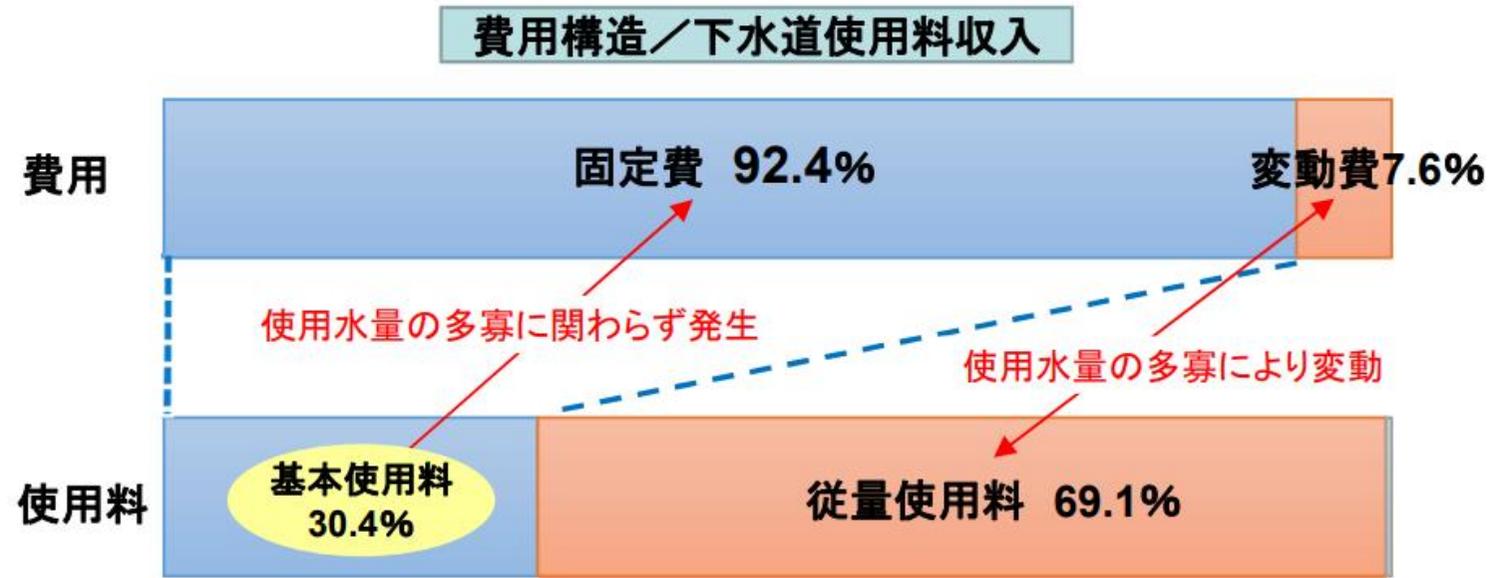
##### (基本水量制の解消)

- ・基本水量制は、基本水量の範囲内の使用者間の負担の公平性の観点から課題もあることから、漸進的に解消させていくことが望ましい。

### 使用料体系の設定(2/2)

現状: 使用料収入に占める基本使用料の割合が、支出に占める固定費割合に比して低水準となっており、人口減少の進行により、下水道サービスの維持が困難になる恐れがある

- ・費用構造に占める固定費の割合が9割以上を占める中、収入に占める基本使用料収入の割合は3割に過ぎず、費用構造に比して、非常に不安定な料金体系となっている。
- ・今後の人口減少等による使用水量の減少が見込まれる中で、下水道サービスを維持していくためには、基本使用料に配賦する固定費の割合を漸進的に高めていくことも視野に入れた使用料体系の設定が必要と考えられる。



# 目次

1

・使用料改定の流れ

2

・使用料改定の基本的な考え方

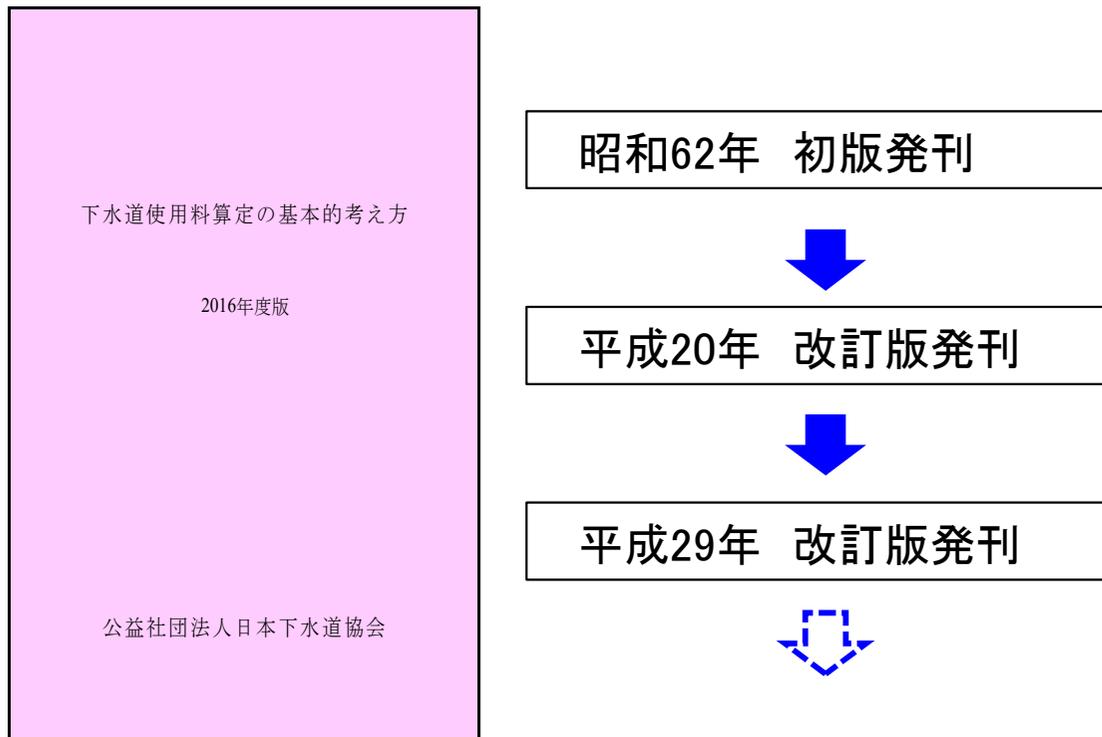
3

・下水道協会の支援  
(使用料改定シミュレーションソフト)

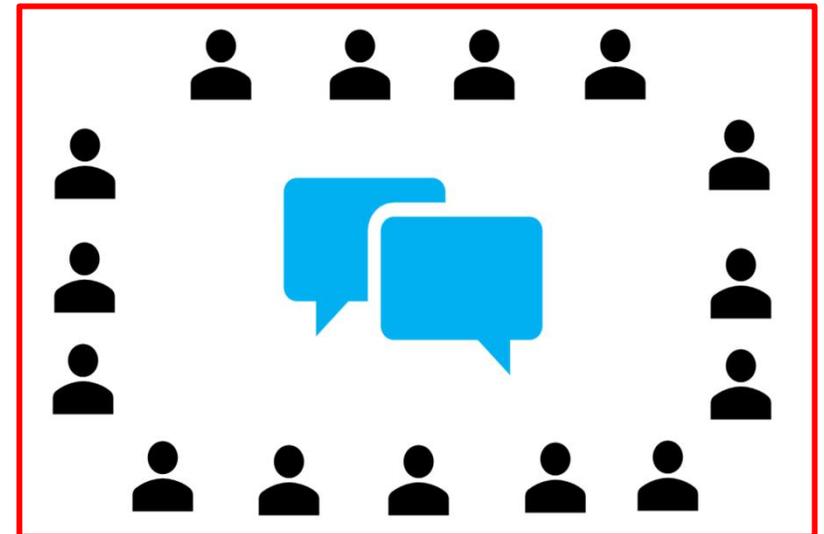


## 下水道協会の取組(1/2)

### ①使用料算定の基本的考え方の改訂



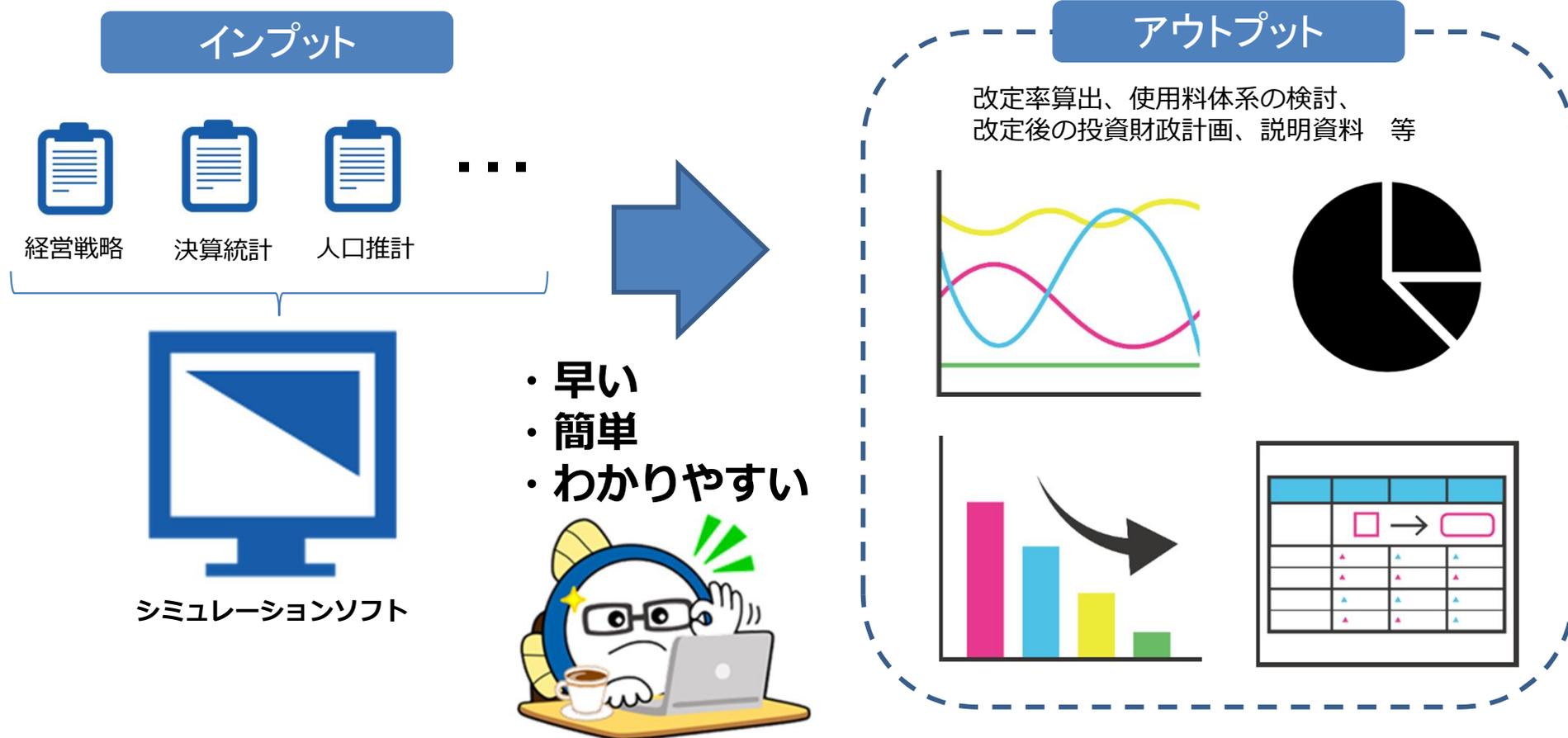
### ②資産維持費勉強会の実施



## 下水道協会の取組(2/2)

### 【概要】

・使用料改定シミュレーションソフトを作成することで、地方公共団体が経営改善に向けて取組む下水道使用料の改定業務を支援。



#### 下水道使用料改定シミュレーションソフトのメリット

##### 1 使用料改定が必要か、検討が行える！

- 既存の実績データを活用し、少ない負担で改定率の試算が可能
- フローに沿った入力方法で、ノウハウの少ない担当者でも短時間で検討が可能

##### 2 使用料改定を行う際の各種シミュレーションができる！

- 任意の改定率や改定年度、2段階改定など様々なパターンで検討が可能
- 使用料体系の見直しも検討可能

##### 3 複雑なマクロ等がないエクセルのため、使いやすい！

- 計算式を確認でき、各団体の実情に合わせてアレンジ可能



## シミュレーションソフトの活用方法(2/6)

### 【入力箇所(処理区域内人口推計)】

#### 2-1-1 処理区域内人口推計

・複数の処理区域内人口推計案から、採用する推計方法を選択してください。

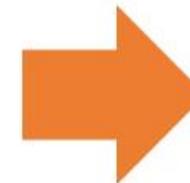
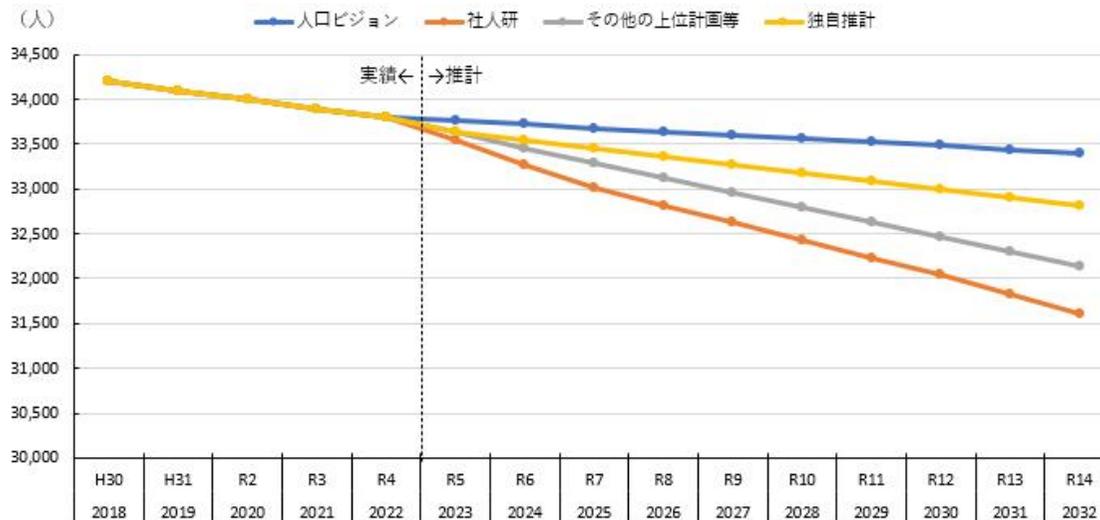
ソフト全体像へ戻る

推計マスターへ移動

実績 ← ⇒ 推計 (単位:人)

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
人口ビジョン	34,200	34,100	34,000	33,900	33,800	33,760	33,720	33,680	33,641	33,601	33,561	33,521	33,481	33,441	33,401
社人研	34,200	34,100	34,000	33,900	33,800	33,538	33,275	33,013	32,819	32,625	32,431	32,237	32,043	31,823	31,603
その他の上位計画等	34,200	34,100	34,000	33,900	33,800	33,628	33,455	33,293	33,120	32,958	32,796	32,633	32,471	32,309	32,136
独自推計	34,200	34,100	34,000	33,900	33,800	33,640	33,550	33,460	33,370	33,270	33,180	33,090	32,990	32,910	32,810

現在処理区域内人口推計の比較



処理区域内人口推計方法の選択

独自推計

↑ ドロップダウンより選択

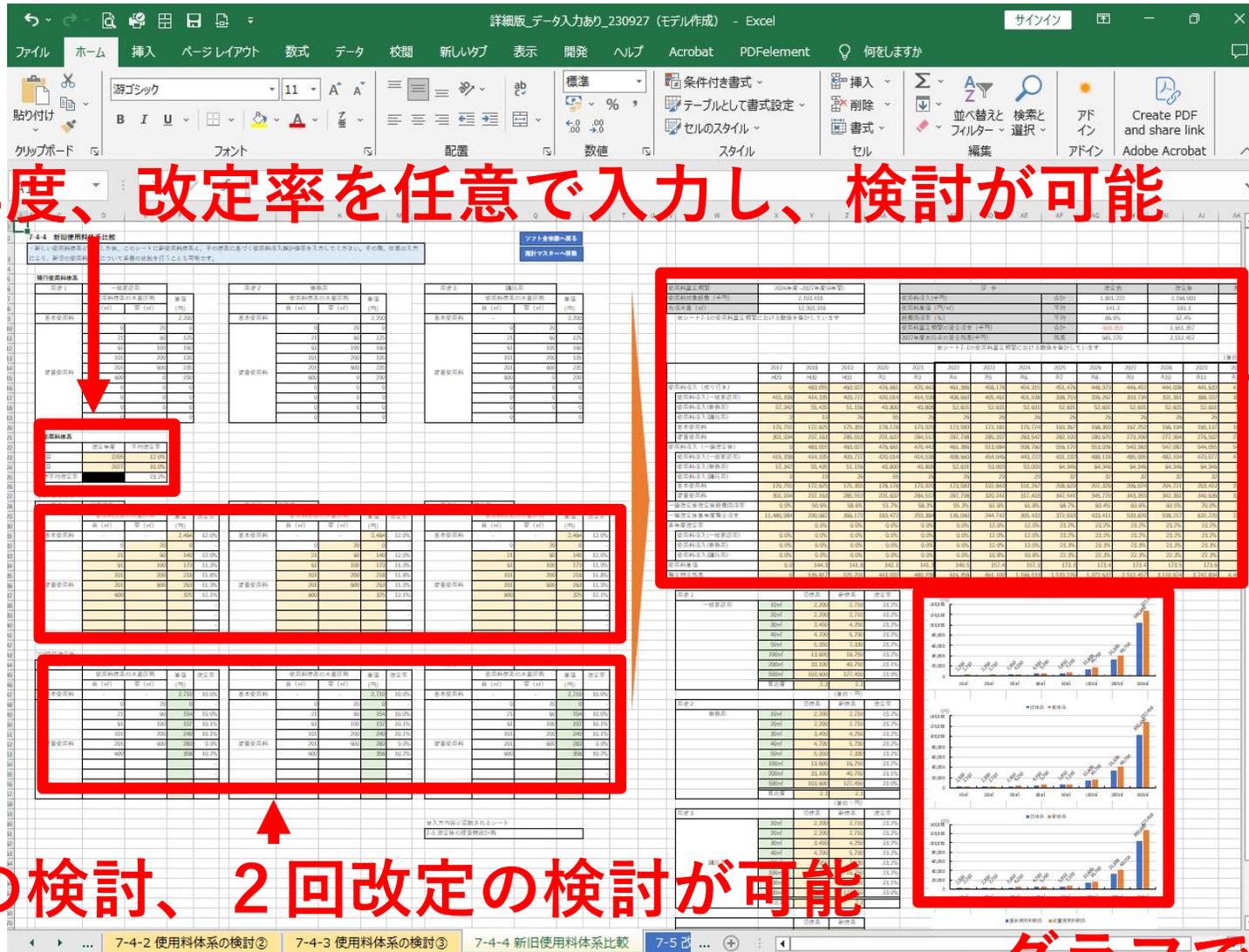
## シミュレーションソフトの活用方法(3/6)

改定年度、改定率を任意で入力し、検討が可能

改定前・後の比較

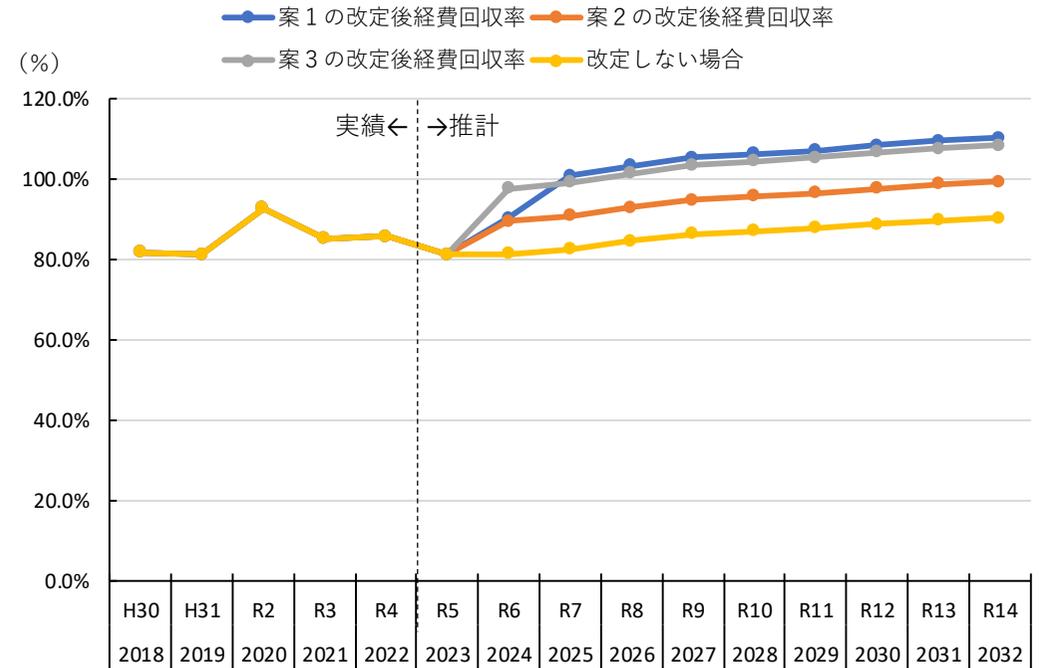
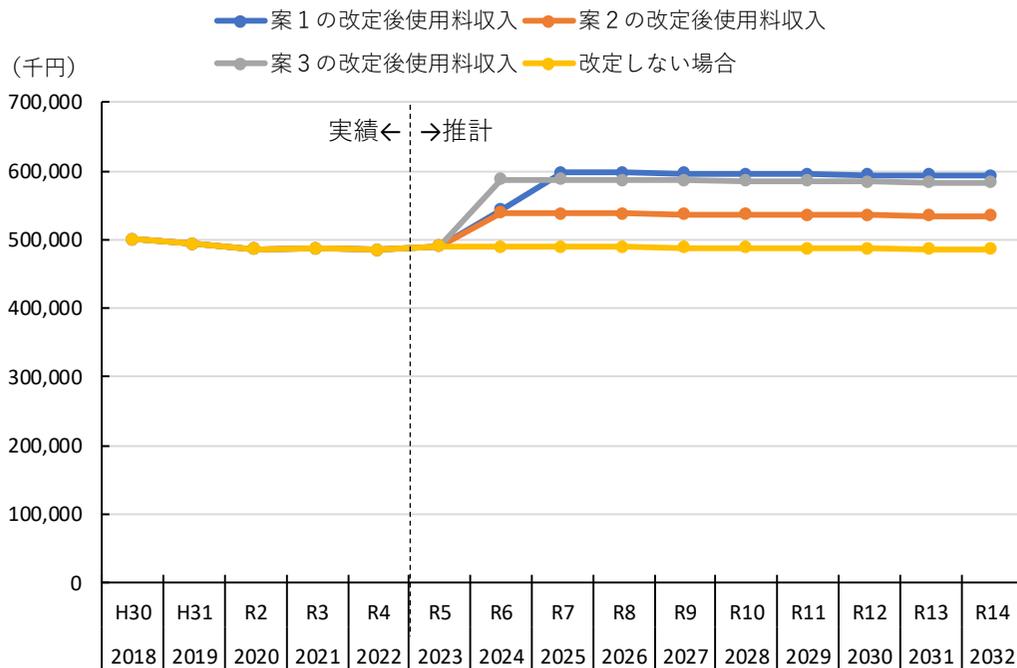
体系の検討、2回改定の検討が可能

グラフで比較

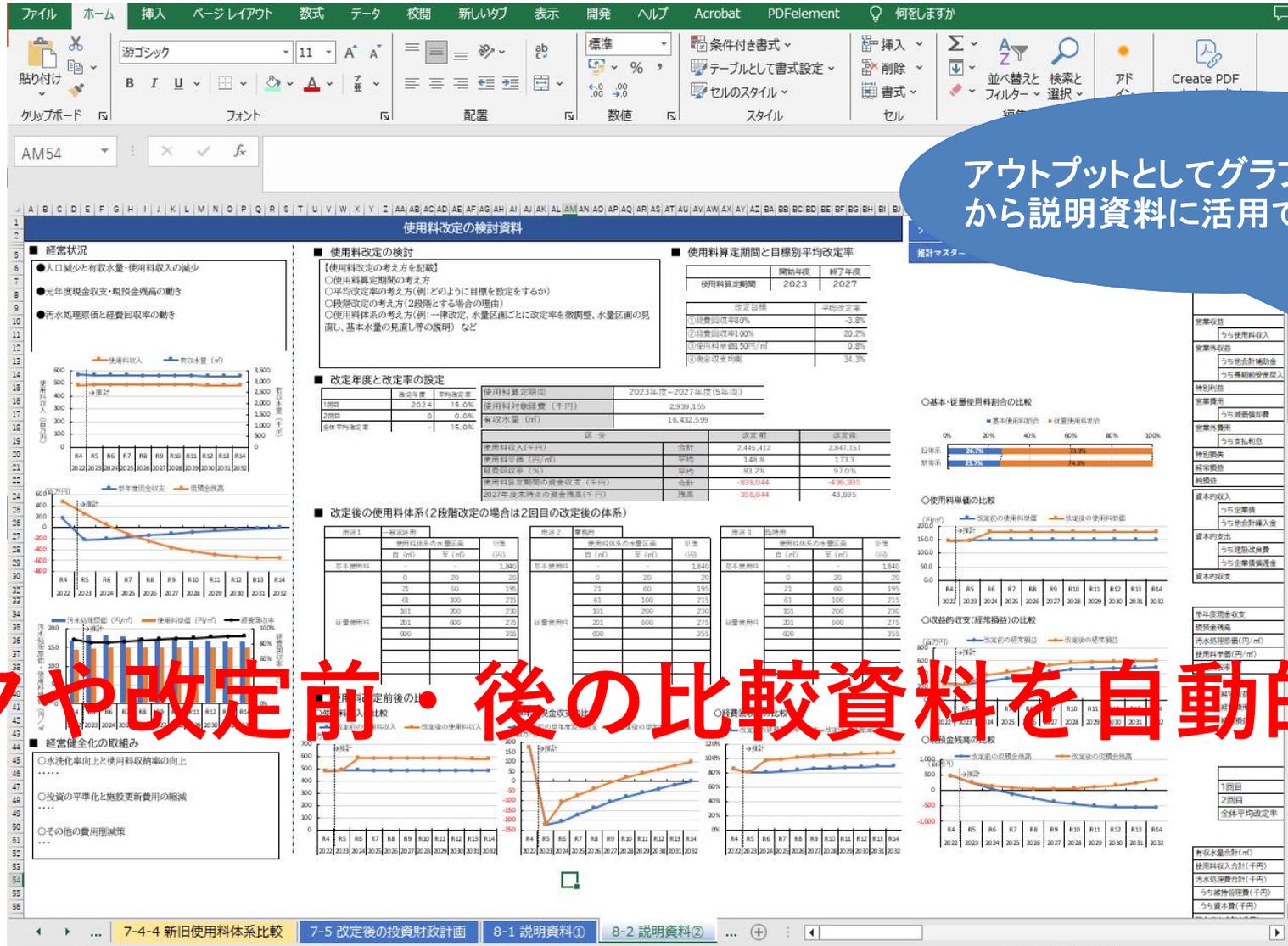


## シミュレーションソフトの活用方法(4/6)

【グラフでも比較可能(平均改定率の検討)】



## シミュレーションソフトの活用方法(5/6)



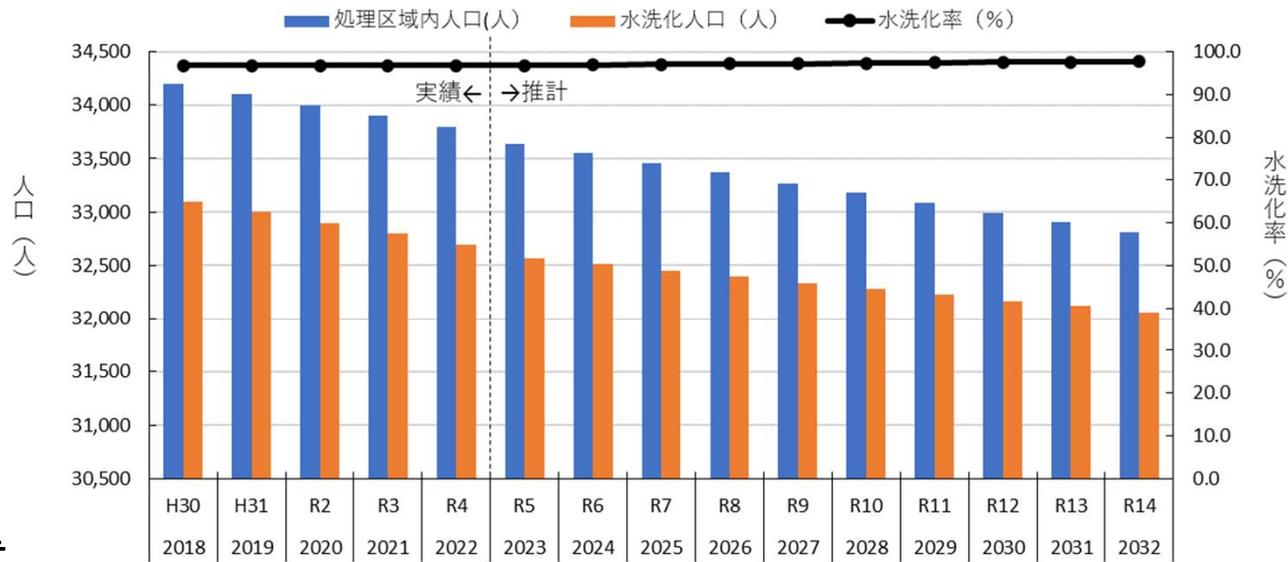
アウトプットとしてグラフも作成できるから説明資料に活用できるね

グラフや改定前・後の比較資料を自動的に作成



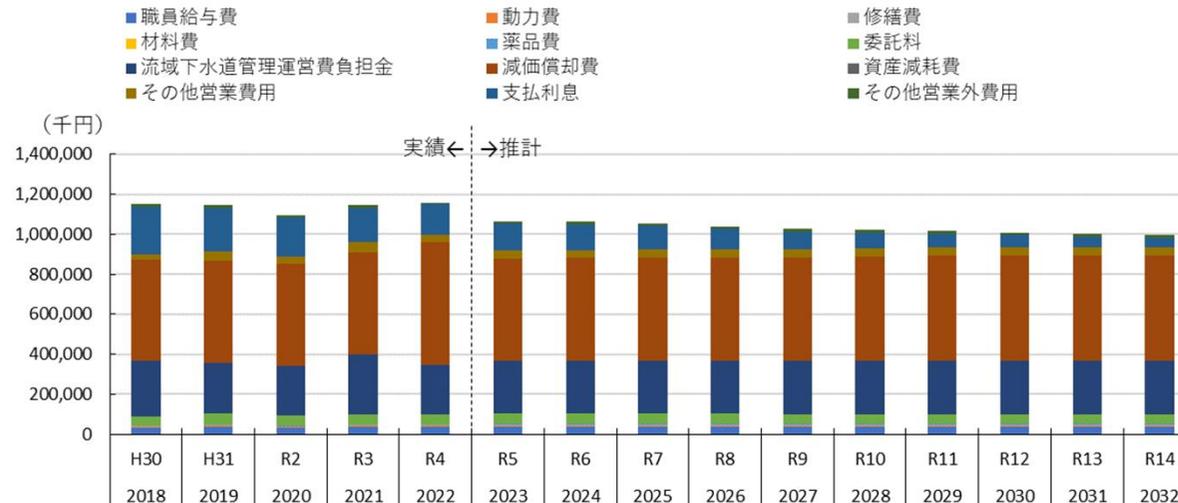
## シミュレーションソフトの活用方法(6/6)

処理区域内人口・水洗化人口・水洗化率



【各種グラフを用意(説明資料)】

費用構成



## サポート体制



#### ① 講習会の実施

使用料改定の基礎～ソフトの活用方法

※2/29講習会 2/15〆切、令和6年度全国7都市で実施



#### ② 改定事例集の公表

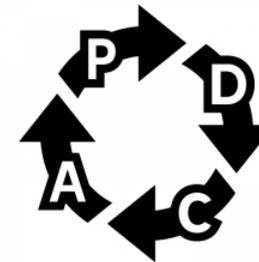
ソフトを活用し、改定を行った事例等を提供



#### ③ 自己分析ソフトの提供

下水道使用料の見直しを行う必要性等の検討に活用

- ・経費回収率に係る要因別寄与度分析
- ・経費回収率及びその構成要素等の類似団体比較



#### ④ バージョンアップ等の実施

国の見直し+問合せ等を踏まえた修正等実施

## お問い合わせ

お問い合わせ先

経営・研修部経営課

〒101-0047

東京都千代田区内神田2-10-12 内神田すいすいビル8F

TEL : 03-6206-0279

E-mail: chousaqa@ngsk.or.jp



購入方法や販売価格については、  
本会HPを確認してね。  
紹介動画も用意してるよ！



下水道協会

検索

